

# 令和4年度 学力向上を図るための全体計画

大田区立梅田小学校

- ・学校・地域の実態
- ・地域の期待や願い
- ・保護者の期待や願い
- ・期待される児童像

## 学校教育目標

- 明るく元気な子
- ◎よく考える子
- ねばり強い子
- 心のゆたかな子

うわあ「大発見」  
めざせ「〇〇マスター」  
だれとでも「伝え合おう」

- ・学習指導要領
- ・東京都教育目標
- ・東京都教育施策大綱
- ・東京都教育ビジョン（第4次）
- ・アクティブプラン to2020
- ・大田区教育大綱
- ・大田区教育委員会教育目標
- ・おおた教育ビジョン

## 生活指導・生活全般における指導の重点

- ・「梅田小のよい子」の共通理解。学年朝会での生活指導を通して、ルールやマナーの徹底を図る。
- ・いじめや暴力・暴言がないように協力して指導にあたる。

## 特別活動の指導の重点

- ・集団で遊び心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
- ・たてわり班活動を通して異学年の仲間と相互に理解を深め、協力してよりよい学校を築いていこうとする意欲と態度を育成する。

## 学校経営方針

(主として学力向上に関する内容を抜粋)

### 学びの自立

- ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す
- ・学習課題を自ら見付ける力を育成する
- ・主体的に聞き、話す力を育成する
- ・友達や教師との対話を大切にする
- ・学習意欲を高める教師の言葉掛け

### 課題解決的な学習の充実に向けた環境づくり

- ・ICT機器の活用（プログラミング教育）
- ・学校図書館の活用
- ・外部講師を招いた授業の実施

## 特別の教科 道徳の指導の重点

- ・道徳授業地区公開講座の充実を図り、学校、家庭、地域が一体となって道徳教育を推進する。

## 外国語活動の指導の重点

- ・外国語科専科による授業(4~6年) コンシェルジュの活用により、実践的な英語の授業を行う。
- ・1~3年では、担任主導の授業を展開し、外国語教育指導員を相手に気軽に英語を話すことができる力を育成する。

## 各教科の指導の重点

- ・児童自らが発見したことや問いを大切に学習指導。課題解決学習の展開を図る。
- ・ICT機器、学校図書館の積極的な活用
- ・学習意欲の向上を重視した指導
- ・学習カルテ、学習カウンセリングの充実（4年生以上）

## 総合的な学習の時間の指導の重点

- ・自ら課題を見付け、主体的に判断し、言語活動を通して課題を解決する資質や能力を育成する。

## 梅田小学校の授業改善に向けた視点

指導方法や内容の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会の連携と工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○算数のステップ学習や習熟度別少人数学習指導(3年生以上)を行い、個に応じた指導の充実を図る。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びに向けて、児童の「日常の発見」「問い」教師の「称赞」「問い返し」を大切にする。</li> <li>○読書活動や言語活動の充実を図る。</li> <li>○理科支援員の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝学習(火曜、木曜)、読書・読み聞かせ(金曜)補習教室(3年生以上。水曜、土曜)基礎的基本的な理解の定着を図る。</li> <li>○2学期末の保護者会で各学年の授業改善点と成果や課題を説明し、保護者の理解と協力を得る。</li> <li>○読書学習司書と連携し、各教科の充実を図る。</li> <li>○読解力の向上 一校一取組 低学年: 科学読み物推進 高学年: 新聞の読み取り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間8回の授業研究の実施、実技研修会の充実。区や都の研究との連携</li> <li>○校内研究の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都教育委員会 情報研究校(2年次)</li> <li>・大田区教育委員会 ICT教育推進授業モデル 実証校(先進校)</li> </ul> </li> <li>「UMEDA・スマート・スクール・プロジェクト~学びにおける日常的なデジタル活用を目指して~」</li> <li>○組織的なOJTの実施を図り教科指導・生活指導の充実を図る。</li> <li>○ICT機器、プログラミング教育に関する研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力の定着を図れるよう、学習計画時に学習のねらいや留意点を明確化し、指導と評価の一体化を図る。</li> <li>○発達段階や学習活動に応じた振り返り(自己評価)の充実。</li> <li>○スタディログ(学びの履歴)を大切にし、指導と評価の一体化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者による読み聞かせやスクールサポートうめだとの連携を図り、体験的な学習や活動の充実を図る。</li> <li>○家庭と連携を図り「早寝早起き朝ごはん」推進月間(5月・10月)の充実を目指す。朝ストレッチや啓発カードを行い、意欲的に健康教育に取り組む基盤をつくる。</li> </ul>